令和４年度以降入学生用

学校番号	3006

令和５年度　工業科（建築都市工学系 建築システム専科）

教科	工業科	科目	建築構造	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『建築構造』（実教出版）						
副教材等	『建築構造演習ノート』『図説　建築資料集』（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築物は、安全、快適、経済的に建築することが求められています。そこで、各種建築物の構成および材料を十分に理解していきましょう。具体的には、建築物の各部の構成方法、構成する部材の名称や働き、使用されている材料の名称や性能を理解しましょう。

建築物に用いられる代表的な２種類（木構造、鉄筋コンクリート構造）の標準的な材料、構成・構法のちがいを理解しましょう。

２　学習の到達目標

１　現代社会で生活文化を支える各種の建築物の構造形式や構成材料の概略を理解させる。
２　木構造、鉄筋コンクリート構造を構成する部材名称や部材の働き、構成方法を理解させる。
３　木構造、鉄筋コンクリート構造に用いられる材料の名称や特性を理解させる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識の習得をもとに、建築に関わる諸事項を合理的かつ的確に遂行する技術や技能を身に付け、環境への配慮を心がけたうえで活用することを理解している。	建築物の構造や建築材料に関する基礎的な知識や技術の習得をもとに、建築物の設計や施工をするときに生じる諸問題の解決を目指し自ら思考、判断し、創意工夫する能力を身に付けるとともに、その成果を適切に表現する力を身につけている。	建築物の構造や建築材料に関心を持ち、これらに関する基礎的な知識や技能の習得に粘り強く取り組むとともに、学習状況を把握し、自ら立てた学習計画に、取り組もとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(C)
1学期	建築構造のあらまし・木構造	・建築構造の歴史的発達 ・建築構造のなりたち・分類 ・建築物に働く力 ・関連する法規と規準 構造の特徴と構造形式 ・木材、 木材の接合 ・基礎 ・軸組 ・小屋組 ・床組 ・階段	a: 在来軸組構法の知識や技術について関心をもっている。 b: 木構造の構造形式や構成部材を判断できる。 c: 木構造の種類や特徴をまとめることができる。 d: 木構造の意義や役割を理解している。	定期考査 演習ノート 小テスト	定期考査 演習ノート 小テスト グループワークへの参加	発表・発言 レポート課題
2学期	木構造・鉄筋コンクリート構造	・開口部 ・外部仕上げ ・内部仕上げ 鉄筋コンクリート構造の特徴と構造形式 ・鉄筋 ・コンクリート ・基礎	＊木構造は１学期に準ずる。 a: 鉄筋コンクリート構造の構造形式や構成部材について関心をもっている、 b: 鉄筋コンクリート構造の構造形式や構成部材を判断できる。 c: 鉄筋コンクリート構造の種類や特徴をまとめることができる。 d: 鉄筋コンクリート構造の意義や役割を理解している。	定期考査 演習ノート 小テスト	定期考査 演習ノート 小テスト グループワークへの参加	発表・発言 レポート課題
3学期	鉄筋コンクリート構造	・躯体 ・仕上げ ・壁式構造 ・プレストレストコンクリート構造	a: 鉄筋コンクリート構造の構造形式や構成部材について関心をもっている、 b: 鉄筋コンクリート構造の構造形式や構成部材を判断できる。 c: 鉄筋コンクリート構造の種類や特徴をまとめることができる。 d: 鉄筋コンクリート構造の意義や役割を理解している。	定期考査 演習ノート 小テスト	定期考査 演習ノート 小テスト グループワークへの参加	発表・発言 レポート課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度